

海南高等学校 定時制

実施日時	令和元年 9月 3日(火)、11月 1日(金)
参加者	1回目：生徒17名、教職員10名 2回目：生徒17名、教職員10名 総計54名
実施内容	外部講師による講演、避難訓練（シェイクアウトを含む）と第2次避難場所の説明、非常食の炊き出し

ねらい

1. 近い将来起こると想定されている南海トラフ巨大地震などの自然災害に備え、防災・減災に関する基礎的事項を系統的に理解し、防災への意識を高める。
2. 地域防災の担い手として社会貢献できる青少年を育成する。

主なプログラム

1. 講義「地震・津波についての基礎講座」
 2. 避難訓練
 3. 非常食α米の炊き出し
 4. 事前の取組、現職教育
 5. 避難訓練
- 1～3は9月3日(火)の1回目、5は11月1日(金)の2回目に実施。

概要

1. 講義「地震・津波についての基礎講座」
今年度は1年生が多いため「出張！減災教室」より2名の講師を迎え、地震に関する基礎的な事項についての説明を聞き、防災への意識を高めた。
 - ・南海トラフ地震で発生する地震のメカニズム
 - ・想定される地震被害と津波被害
 - ・地震が起きたときの行動や注意事項
 - ・普段から家庭でできる減災対策

2. 避難訓練

- ・緊急地震速報(試験放送)を用いてシェイクアウト訓練を実施
- ・津波警報(試験放送)のあと、担任等が生徒の安全確認をしながら、第1次避難場所としている1棟4階踊り場へ避難
- ・避難終了後、講評を行い、避難するときの注意事項と第2次避難場所について説明

3. 非常食α米の炊き出し

- ・防災学習の担当者から調理の手順の説明を受け、生徒は協力しながらお湯を用いてα米の炊き出しを行い、試食

4. 事前の取組、現職教育

平成31年度版県立海南高校定時制危機管理マニュアルを用いて、災害時における教職員の役割分担及び対応について共通理解を図った。

5. 避難訓練

- ・文化祭の日に巨大地震が発生したと想定し、生徒には事前予告なしにシェイクアウト訓練を実施
- ・片田教授の津波避難三原則を確認

《参考資料》

- ・「かけがえのない命をまもるために」
((県)危機管理・消防課)
- ・「防災ハンドブック」((県)健康体育課)
- ・海南市 津波ハザードマップ、標高マップ

- ・平成31年度版県立海南高校定時制危機管理マニュアル

参加者感想文

- ・今日の授業を受けて、地震や津波がどれだけ怖いのか理解できました。
- ・津波が起きて、その時の状況に応じた対処が必要だとわかりました。
- ・今日の防災訓練をもとに、ちゃんと避難場所等を改めて確認しようと思いました。
- ・機会があれば、非常時に持ち出すものなどを家族と話しておこうと思いました。
- ・地震以上に津波も怖いと思いました。普段から自分でできることを準備しておくことが大切だとわかりました。
- ・家族としっかり避難場所を話し合っておき、自分の命は自分で守りたいと思いました。

成果と課題

【成果】

昨年度に引き続き定時制単独で避難訓練を行った。地震や津波についての理解を深め、災害発生時の行動や防災・減災にむけて普段からできることなどについて学び、防災意識を高めることができた。また、本校の危機管理マニュアルを用いて現職教育を行い、津波が起こった時の避難場所や避難経路、避難時における教職員の役割分担について共通理解を図った。

【課題】

津波のレベルや到達時間、災害の度合い等によって、第1次と第2次のどちらの避難場所がよいのか判断材料を増やすことが課題である。

